

新婚後初のリサイタルを控え幸せ一杯の平みちさんと、初舞台以来、母の様に彼女を見守ってきた宝塚振付師、司このみ先生との異色母子(?! )対談のハジマリハジマリ。

# ■結婚—母の一言、娘の一言

—結婚されて、いかがですか。  
司 余りにも小さい時から知ってるからね。娘を嫁にやっただみたい。以前、よく主人と3人で食事した店へ昨日も行ったら、店の方に「お嬢さんは今日はどうなさいました」って聞かれて、「あの、嫁に行きました」って。(笑)

平 自分自身、ホツとしたというか、焦らなくていいという部分ができでしたね。振り返ると、よくあれだけ一人で頑張ってた、つっぱれてたなあと感じますね。

司 普段は女の子してたからね。

特に意識してたみたいだけど。だから私は変ったっていう風には、余り思わないけど。ただ、宝塚のイメージから考えると、やっぱ変わったでしょうね。

平 この間も先生のダンスカンパニーの発表会にゲストで出さしてもらったけど、先生はやっぱりお上手なんです。カッコいいし、大人だし：自分は今まで何をしてきたのかなと。言われた通りはできるんですけど、それ以上の心の広さとか曲のうけとめ方とかダンスの内容は：まだまだで。で先生に私の替りに踊ってって(笑)。

—今度のリサイタルは結婚後初ということですが新しい挑戦は？  
司 幸せな人間を題材にするのは難しいんです。特に日本は悲劇のヒロインが好きでしょ。例えば、この人がすごいひどいめに遭ってそれでもくじけず舞台をやるって

いうのは作り易いんです。で私が見てて彼女が葛藤してるってことっていうのは今まで男役をずっとやってきたから、ありのままの自分になればいいのに女にならないといけないという切替えが難しそうです。それをテーマにしようかな、と。で舞台の世界は初日を迎えるまでの平みちなよ。

平 初日を迎えるまですさまじいんです。(笑)

司 台風が吹くんです(笑) 初日まで。体力的にも精神的にもピークになる時期がある。その時は無茶苦茶。泣いたりわめいたり。いつもそこで何か学ばみたいね。

平 不思議なことに必ずその時、自分に足りないものが来るんです「麗しのサブリナ」の時も。人に対しての思いやりとかを改めて認識して、もっと優しくならなければこの役は絶対できないんだと。

司 サブリナをちゃんと演れなかったらお嫁に行かないで下さいって言ったのよね。(笑)

平 サブリナをやることで初めて初めてお嫁に行けたなっていう感じがします。

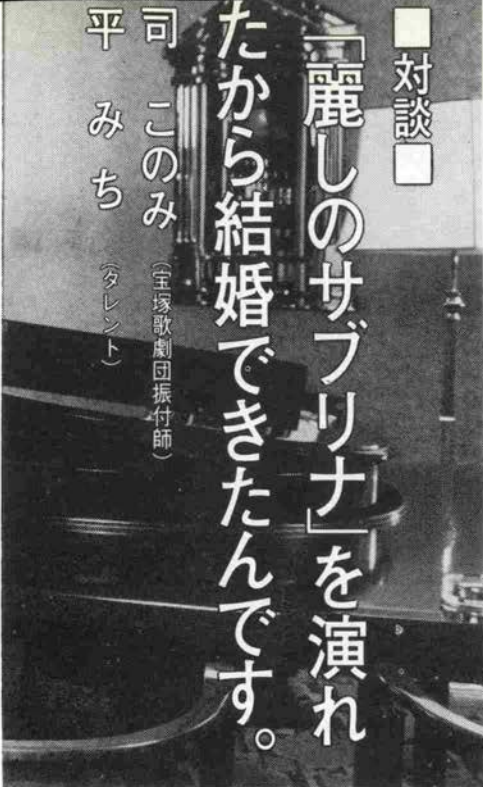
司 彼女の場合、今まで本当じゃないものがあつたんですよね。二重構造というか。自分は男役だから、先づ、様子とか形を女にしないくちやいけない。本当は、ありのままの自分に、なればいいんだ

## ■対談

## 「麗しのサブリナ」を演れ

## たから結婚できたんです。

司 このみ (宝塚歌劇団振付師)  
平 みち (タレント)





平みちさん（左）と司このみさん 新神戸オリエンタルホテル「レスカル」で。

けれど彼女の場合、そのありのままの自分というのが果たして、一人前の「女」であるのか、大人であるのか、というので成りきれないところがあるんですよ。宝塚にいたということで、女としての成長課程が、どこかでストップしちゃってるんです。それはもう舞台だけのことではないんですよ。人間としての成長こそが、「ありのままの女としての平みち」になるんです。そうなってほしいと思うから普段の生活に対しても結構、難しい注文してるのよね。平 そうなんです。私も宝塚時代

に、ホイホイと持ちあげられて、気持ちいい言葉ばかり言われて生きてきましたから……。自分の知らないうちに、人を傷つけていたんですよ。それが、あなたはこれだけ人を傷つけたのよって言われた時に、初めて気がついたんです。自分自身、今何を言っているのかそれによって、どれだけこの人の心を傷つけたかって。それに気がついた時は、もちろん自分も衝激をうけて、私自身も傷つきました。それ以上もうどうしようもないくらい傷ついて、立ちあがれなくて。これ以上、前へ進めな

い、と……。でも、気がついたんですね。これだけ言われるってことは、まだまだ人間として、成長していかないといけないし、もっと成長でき得るんだ、常にそう思っただけで頭張ろうと思っただけです。傷ついて倒れたら、又起きあがって、歩きだせばいいんだと。そうして又傷ついて……。どうしようもないけど、そうして生きていく、生きていかなきゃいけない……。そうして少しずついい方向へ生きていく。その繰り返しで、傷つけられるからこそ、自分は戦っていけるんだな、と思うんです。司 先生は、そういう意味で、本当のお母さんだと思うし、本当の相談相手だと思うし……。

司 だから、「麗わしのサブリナ」も、あの役ができない限り、結婚しても相手の方に、申し訳ないからって、ね。(笑)

平 そうなんです。で、できたもんだから、すぐ行きました!(笑)——恋の方の台風は?

平 私よりも彼の方が台風だったみたい(笑)彼は普通の人でしょ。雷様が落ちてきたみたいだって言われました。(笑)

司 本人は全然そういうことわかんないのよね。台風目は静かだけれど周囲が大変。一般人にはないエネルギーだから、それを面白く舞台上で観せられたら……。



「これからは、なくさめてくれる人が、いるからね。しこきがいがあるわ…」と司先生

# ■司流 “効果抜群・地獄の訓練”

— 舞台では宝塚の人には独特の華がありますね。

司 結局、訓練の積み重ねなんですよ。

平 すごい訓練です。汗と涙の（笑）体を作りあげていくっていいか。

司 ユニークなトレーニングがあるのよね。人を見ると拷問だと思わね。（笑）

平 効果はすごいですよね。筋肉をいい方向につけていく訓練。先生が発案されたんです。

司 簡単な、ぶら下がりが健康器具みたいなを作ったんです。で、そのトレーニングをするとダンスで3回転しかなかったのが、床



「死ぬほどしこかれても死なない頑強な体ですから。両親に感謝してます。」と平さん

の端から端までできちゃう。バリシニコフみたいになるのよ。

平 拷問なんだけどそのうちやらなきゃ収まらなくなる…。快感というか、そのトレーニングのあと確かに体が開発されてる…。

司 一度陸上選手でデータ収集したいわね（笑）

平 1つ位、舞台で公開しましょう。（笑）

司 あまりにも拷問だからねえ。

— 最後にお互いを評して下さいそれとリサイクルの見どころと。

司 変わった奴ね！ 宇宙人みたい。粘りと痛めつけられても持ち上がるパワーっていうのが、世の中の人に何か力づけになる位の人。いつまでもへこたれないで大きくなくて欲しいな。

## ＜平みち情報＞

■新婚後、初めての平さんのリサイタル。女らしさをプラスして、より魅惑的な舞台を届けます。

「BETWEEN」

主 演／平 みち

構成・演出・振付／司 このみ

日 時／7月4日（火）

PM 6：30 開演

場 所／サンケイホール

問合せ／06-345-5062

平 自分でも叩かれた方がいいみたい。先生は、鬼の司とかで有名だけれど決してそうじゃない。みんなをよくしてあげようと思う気持ちのすごくある方。本当の意味の思いやりと愛情のある方です。

司 今度のリサイタルは、平みちがピアノを弾きます。タップも踏みます。あとー死ぬかもしれないほどやります。（笑）地獄が待つてから覚悟しときなさい。

平 怖い：ひえー。

司 ポスターのタイトルに「平みちは死ぬかもしれません」って書いてどうかしら。

平 でも決して死にません。以前先生に、「死ぬまで踊ればいいのよ」って言われたけど絶対死ななかったから…。楽しみに期待してして下さい。

司 今度は御主人がいるから、なぐさめなくてもいいし、安心して苛めても苛めても苛められる（笑）（'95・15 新神戸オリエンタルホテルにて）

話題のひろば

<Ⅲ>

# 森真珠株式会社 新本社ビル竣工！

□新神戸駅前に「真珠の街」神戸の文字



## 会社新社屋竣工披露



写真左から田崎社長・杉田社長・中村社長。右上新本社ビル 右下は9階の社長室。左下森隆社長、中央は森社長夫妻を囲んで、中央午前10時30分にテープカット。

今年で創業20周年を迎えた森真珠株式会社の新社屋がこのほど完成、5月12日に竣工式、午後からは同ビルの3・4階イベントホールで披露パーティーが開かれた。司会進行役は御影貿易商事、中村友一社長。

「常に前向きな姿勢で時代の変化に対応する森社長。今後も真珠業界を担う頼もしい存在であって欲しい」と田崎真珠・田崎俊作社長よりお祝いのスピーチのあと、森隆社長から引き続いてお礼のことばが述べられた。

「20年前、北野町のビルの一室からスタート。円高で輸出が苦しくなったり、今日までいろんなことがありましたが、ようやく自分の拠点になるこのビルを完成させることができました。成人式を終えて社会に旅立つ一年生のつもりで一歩一歩頑張っていきます」と。

ミキモト・杉田勝時社長の乾杯の音頭でパーティーは佳境に。当日は、あいにくの雨模様にもかかわらず、各界から約500人が集まり、この新社屋の完成を祝った。パールホワイトにつつまれた瀟洒なデザインの同ビルは総面積約3600㎡。1階にテナントとして近鉄モータース、2階にショールーム、3・4階イベントホール5・9階に事務、加工部門を設け5/18日より営業を開始している。

# 白鷺城に鮮やかな色が舞う “KENZO IN HIMEJI”

藤本 ハルミ

＜オートクチュールマーガレット＞



高田賢三の名を意識したのは何年位まえのことになるだろうか。  
一九七〇年頃、日本人に対する侮蔑語だった「ジャップ」という  
ネーミングでパリに店を開き、爆発的人気を得てアメリカで同名の  
店をだしたことが移民一世の人々の怒りをもって世論が湧きたち、  
私なども若い世代の不見識に時代の流れを感じたものだった。  
そのケンゾーが革命二百年のパリから二十五年ぶりに生れ故郷の  
姫路に帰ってくる。

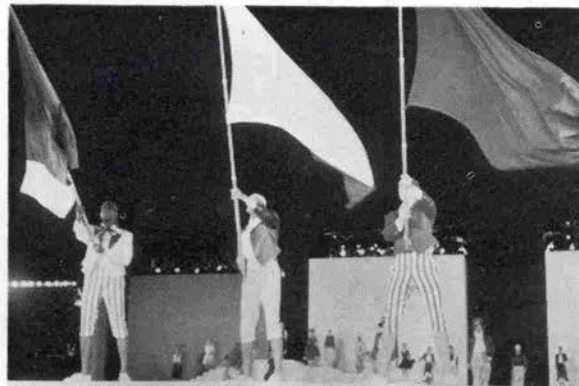
平成元年、姫路市制百周年を記念する'89姫路シロトピア博の中  
で、“ケンゾー IN HIMEJI”と銘打って姫路城三ノ丸広場におい  
てマヌカン百五十名、ドレス五百着、客席七千という大規模な野外  
ショーを三日間開こうというのだ。

五月十四日五月晴れの空は美しく夕暮れの白鷺城を右手に仰ぎみ  
る広場は、今迄みたこともない大きな舞台の前に扇型にスロープを  
持つて作られた巨大な客席はしだいに埋められていった。立見ので  
る盛況さである。

ショーはパリ革命を思わせるトリコロールカラーで始まり、フラ  
ンス国旗の打ちふられる活気のあるオーブニングから、せり出し移  
動舞台に難段が作られ、百名の琴曲の合奏をバックに姫路城ゆかり  
の千姫のフィナーレまでケンゾーのパリでの二十五年間のファッシ  
ョンのすべてを目の前に展開して見せてくれた。

彼はオートクチュールの牙城であるパリにおいて、第二次大戦後  
アパレルのデザイナーの旗頭として、東洋人の布をまとう、布を重  
ねる、という思想を持ち込み、今迄の服の概念を破り続けてきた。  
ケンゾーのドレスはどれもこれもみな明るくカラフルでイキイキと  
若々しく楽しかった。

フィナーレでシンセサイザーの音とともにレーザー光線が夜空に  
飛びかい、放心の観客の視野の中にケンゾーが白いスーツであらわ  
れた時、その少年のような笑顔が彼のすべてを語りつくしているよ  
うに私には思われた。



ブルー・ホワイト・レッド  
フランス国旗のイメージで



かわいらしい  
子供たちも参加



歴史の中にライトアップ  
フィナーレは千姫が登場



KENZO TAKADA

あざやかな色彩と  
“花” が永遠のテーマ



★輝きの中に優しさがみえるジュエリー

神田宏さんのオリジナルの世界  
ジュエリーデザイナー神田宏さんによる  
「モダン・ジュエリー・コレクション」が4  
月20・25日の6日間、北野坂の木下パールサ  
ロンで開かれた。ダイヤモンド、南洋パール



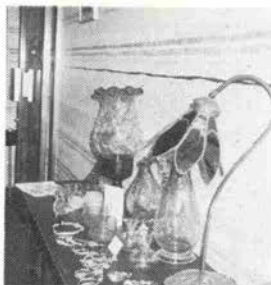
サファイヤ  
などを使用  
した美しい  
オリジナル  
ジュエリー  
などを約60点  
を展示。め  
ずらしいと  
ころでは、  
ステキなメロディが聞こえ  
そうピアノの  
ブロークン  
コード

宇宙工学で使われる金属、チタニウムをK18  
と合わせたセッティングやチャーム、また  
銀のゴルフパターや香合などバラエティに富  
んだ内容となった。「単に外見の美学的観点  
にとらわれるのではなく、機能(使いやすさ)  
を優先的に考慮します」と神田さんがお話し  
するようにあらたまった装いはもちろん、普  
段着のお洒落にも活躍しそうだ。

★素敵空間／ガラスギャラー／黒衣

美容院に続く小さなスペースに広がるガラ  
スのファンタジックワールド。壁面は松井恵  
作氏のオリジナルアートとして構成されてお  
り、又、繊細だが静かに主張するガラス作品  
の並ぶフロアは店内に足を入れた途端、神秘  
的な空気に包まれてしまう。

人形使いの黒衣の様に芸術的な人や作品を  
演出していきたいと店の名の由来を語るオー  
ナーの田中雅子さん。ジュエリー作家の嘉納千  
紗子さんと画家はしもと美穂さん、浜田千鈴



ガラスの繊細さがムードを出す...

さん等、素敵な女性の集まる素敵で知的なア  
ーティストです。

■中央区加納町4ノ10ノ21 柏井ビルB1F  
電話(078)321-2060

★バリも水玉、当然神戸も水玉前線に沸騰!!今  
年のベストドレッサーズ大賞は水玉が満開



“水玉の達人” 勢揃い!!

ゴールデンウィークの初日、4月29日今年  
で8回目を迎える「神戸ベストドレッサーズ  
大賞(オフィス・ジュンコ主催)が、ポर्टアイ  
ランドのC.F.ジャックションにて催された。  
毎回その年のトレンドをテーマに、お洒落  
人間がそのセンスを競うわけだが、今年は200  
年祭で賑わった流行の「水玉」がテーマ。  
当日は下は13才からは58才までの老若男女  
200名が水玉ファッションをキめて、会場は  
「水玉の達人」で埋めつくされた。受賞者は  
次の4名。総合特別賞/生島英理恵、メンズ  
部門優秀賞/樋下英男、ヤング部門優秀賞  
/清川洋子、アダルト部門優秀賞/黒木利  
恵子(個人数称略)。

★ambience 発、素敵な女性に素敵な秋冬  
を...

ファッション界はもう落葉の季節。5月13  
日午後3時より北野町の外国倶楽部で ambie  
nce が早くも秋冬ファッションが発表され  
た。従来のシックなカラーが多く、特に  
マスタードイエローは微妙な色目で注目株。  
素材もフレイクファーや合繊など各々の布地  
の表情を、「北野らしさ」をエッセンスに表現  
している。

北野で一番人気のアンビエンスらしく、様  
々な「女性」を演出。時にはノールに時に  
はビッド、時にはゴージャスにと、百変化  
した神戸のお洒落高感度人がきつと大満足

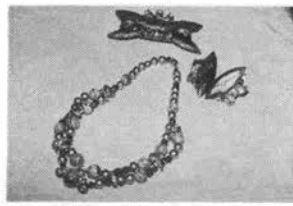
の充実したコレクションであった。



女性の様々な顔を表現

★秋・冬のアクセサリーを先取り

北野のトモカンパニーでは六月十六日、  
秋・冬のアクセサリー展示会を開催す。  
デザインは全てオリジナルで、約二百点の  
小物類が並ぶ展示会ともなれば、女性だけで  
なく、男性諸氏にも、年令を問わず見逃せな  
いところ。残念ながら展示品の販売はされな  
いというこ  
とだが、店  
内には他に  
も所狭しと  
置かれた小  
物類が、き  
らめくばか  
らに目を競  
っている。  
デザイン自  
体は流行を  
余り意識し  
ていないと  
のこと。



これはほんの一部。展示会が楽しみ!!

お店は、お土産物屋「宝島」左隣の折を少  
し上ったところ。ピンクのロゴが目印。年中  
無休。10:00~18:00 電話222-6416

★Aお知らせ

兵庫県洋裁学校連盟加盟校生徒作品ファッ  
ションショーが左記の要領で開催されます。  
8日(時・場所)6月17日於姫路文化センター  
7月1日於神戸市勤労会館■お問合せ(078)331  
-8906/兵庫県洋裁学校連盟

SUMMER COLLECTION 1989  
南風、イタリアから。



serizawa  
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8  
TEL. 078-331-1695

■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店  
■P-4ショップ ■メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



お酒落のための  
特典いろいろ  
1枚のカードから

セリザワカード

もうすこし。

ベーシックなエレガントファッションとして  
人気の高い、ミラノの「エレウノ」。  
着やすさ、縫製の確かさでも  
広く知られるだけに、ノークセサリーで  
着こなしていただきたいものです。  
大人の優しさふりまきながら、  
上質の夏をお楽しみください。

**erreuno**  
MILANO - ITALY

〈エレウノ〉ジャケット(絹100%)134,000円  
〈エレウノ〉パンツ(絹100%)…… 94,000円

■本館3F ワールド レセプション

WORLD RECEPTION

ワールドレセプション

GianVersace

MISSONI

valentino garavani

GIANNI  
S

erreuno  
MILANO - ITALY

GIAN MARCO VENTURI  
UOMO

■本館3F

〈ワールドレセプション〉

●記載表示価格は消費税抜きの価格でございます。

 **SOGO**  
SANNOMIYA KOBE



時間をください、

# BE 専門店物語 VOL.2

## 絶えず新しい「サノヘ」の ハイカラ・ファッショ



芦原博之社長

★憧れを売る唐物屋だった

昭和6年（1931年）。元町の唐物屋ヤタナカオの番頭から独立した佐野平吉さんは、主人の中尾弥太郎さんがヤタナカオともじったように「ヘノサ」じゃおかしいからと、港町特有のシャレツ気「サノヘ」と名付けて、今、元町2丁目のナチュラルハウスのある場所、唐物屋を開店した。

昭和8年。16才で松江から神戸の叔父さんを頼ってやって来た少

年、芦原博之さん（二代目社長）は元町2丁目にあった「サノヘ」の店員募集に飛びこんだ。丁稚奉公から社長を受け継ぎ72才の現在まで、ハイカラ元町専門店の主である。

レコードのチェンジが出来るオルゴール、ハンドバックからステッキ、フォックスの傘、西洋人形ゴヤ、ゲラン、スワルドバ里、コティなどの化粧品etc 舶来ファッショの全てはハンドメイドのシ

ルクや、カシミアなど素材もよく、品物がていねいだ。当時の神戸のエキゾチックなたたずまいは今の丸神戸店の発送所がレインクロフォード。リブラブウエストがナシヨナルバンクなど風情があり、人力車が角々について、戦前の神戸に来るお客は、「舶来でっせ！」に弱かった。ええもんは外国のもの」という西欧への憧れで商いが成立したという。

「戦争へも二度行きましたわ」という芦原社長が、戦後昭和23年焼跡の元町「サノヘ」の復興に、おやじさん（佐野平吉先代社長）と共に立ち上った。PXからの横流れものとか最初は商品集めに苦労した。

世の中が少し落ちついて、ゴルフ復活の頃、まず、マンシングウエアがヒット。続いてラコステ。新しい商品は、専門店にとつて二、三年が生命。百貨店に出廻るようになった次の新しいものを探す。フランスのロタ、クレージュなども大ヒット。結局、ライセンスでつくり出し、売れてくると粗製乱造でつぶれるのが日本の常だ。

★ヒットしたラコステ、クレージュ

KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737～9

★婦人帽子

maxim  
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★伝わる真ごころ手づくりの風格

柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★舶来品ブティック

マスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★よろず御機衣縫上處

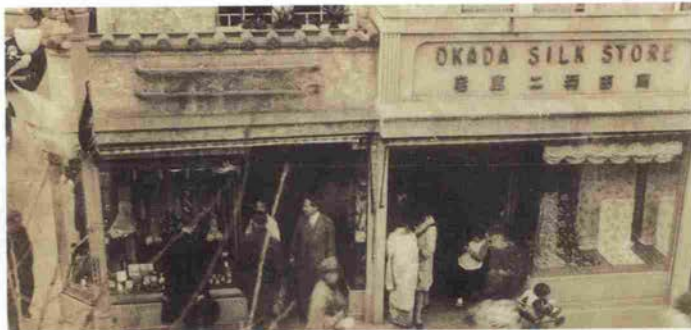
神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

※このシリーズは上記の専門店の提供によるものです。

具商品を集め、豊かになった日本人の新しいライフスタイル提案を行っている。

へ。ドイツ、スイスのなどの、寝具商品を集め、豊かになった日本人の新しいライフスタイル提案を行っている。



上は昭和12年頃の唐物屋からサノへ雑貨店になった頃。当時の元町繁文払い風景▶右上は昭和39年京町の現オリエンタルホテルが、完成間もない蕎麦の間で開いたサノへ主催のクリスチャン・ディオールのファッションショー。



左よりドイツ・ミュンヘンへ。BETTENSanoへの吉田店長と視察に行く芦原社長と通訳。中上は元町2丁目のエレガントなヌーベルサノへ/右上はトアロードのBETTENSanoへの寝装品の揃った店内。



mystic  
Night



六月の誕生石は真珠、なかでも黒真珠の深い輝きは神秘的で、一瞬のうちに女性を高貴なヴェールの内につつまこんでしまうほどの不思議な魔力を秘めています。洗練された大人の女、六月生まれのあなたにこそふさわしいディテール。スレンダーなカクテルドレスと黒真珠を身にまとった貴女はまるでスクリーンに登場するミスディックなヒロイン――。



山勝真珠

フランス200年の輝き、世界の真珠・宝飾品を集めて…

**BLACK & WHITE FAIR**

6/23(金)・24(土)・25(日)

山勝真珠さんちか店 三宮さんちか(ローザアベニュー) TEL. 078(391)4325

# ■味の遊覧船

## ルミナス神戸

レストラン

## サン・マリノ

海が恋しい季節。クルージング & グルメのルミナス神戸（三七〇〇トン）に、第六期ポートエンジンジェルの種子千佳さんと、神戸まつりの五月二十日土曜日の第一便（明石海峡周遊）に乗って今話題の地中海料理を食べようと、中突堤の

乗船場へ出かけることになった。

白と青のツートンカラーのスマートな船体もおなじみだが、種子さんは初乗船。ブラジル・サンパウロへ、お父さんが日本人学校の教師として赴任。家族で四年間海外生活を過ごした国際派の神大二回生のお嬢さん。

キャプテンの池田文夫さんと広報室長の角本稔さんの出迎えをうけて、さっそく洋上レストラン「サンマリノ」へ。神戸港を後に、明石架橋が始まって明石海峡周遊の、



写真（左）レストラン「サン・マリノ」で伊勢エビを食べる種子さんと小笠原シェフ。（右）上は角本さんとハウスワインをすすめられる種子さん。中は人気のあるBコース（¥8,000）の地中海料理。左下は「キャプテン種子です」とラウンジで。セット料理B ¥3,500

シーウインドを楽しみながら、ゆったりとしたレストランで本格的な地中海料理を味わえるなんて、嬉しい限り。

今井商店がコーディネートしたルミナス神戸のハウスワイン（フランス・メッフル社）のグラスワインの赤がついてA（6000円）B（8000円）C（1万円）の三コースがあり、オリエンタルホテルで修業した小笠原耕司シェフのメニュー。

伊勢エビや、エクルピス、イカ、ハマグリ、貝柱など彩り豊かな魚貝類は、瀬戸内なればこそといえるフレッシュさ。ソース類のさわやかな味つけもあっさり上品がい。

神戸ビーフのステーキも柔らかく、よく吟味された素材だなあと感心する。パンは一宮ベーカーリーのものでこれも美味しい。デザートのムースもなかなかいける。

「あれが潮の目。あつ千鳥！」と角本さん。窓から見える126億円のカートンには明石架橋の凄まじい当りにする。悠々とゆく十万吨の鉦石船。すつ飛ばす高速艇など明石海峡銀座の景色と船の色々は眼のご馳走。3時間の船旅は快適なもの。

レストラン「ラ・セーヌ」と共に、今、船上パーティや結婚式の予約が多く、特に船上デザートにこの「サンマリノ」は人気が高いそうである。（小泉美喜子）

ルミナス神戸／ルミナス観光株式会社

〒650-0088 神戸市中央区海岸通5番地3ビル  
6階 電話 078-333-8480（代）乗船料大人 ¥2130 小 ¥1110 1便（明石海峡周遊）11月18日 2便（関西国際空港周遊）11月19日 3便（大阪湾周遊）11月18日 12月25日まで。